賢く　優しく　逞しく

１０月号・令和４年１０月３日発

本校ＵＲＬ　http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/　武蔵村山市立第五中学校

学校行事復活

校　長　榎戸　千代子

キンモクセイの甘い香りが漂い、本格的な秋を感じる頃となりました。

コロナ禍で２年間実施できなかった修学旅行ですが、今年度は１０月９日（日）～１１日（火）の日程で出発の準備を進めています。初日は京都駅から奈良に向かい、最初に薬師寺を見学します。

ゆく秋の大和の国の薬師寺の塔の上なるひとひらの雲　　佐佐木　信綱

薬師寺は、飛鳥時代の６８０年に、天武天皇が皇后（持統天皇）の病気の回復を願って建立し、その後、持統天皇が６９７年に完成させたといわれています。平城京遷都に伴い、奈良時代初期の７１８年に今の地に移されました。その後、火災や兵火などで、ほとんどの堂塔が焼失し、東塔のみが奈良時代の建物として残りました。この東塔は、白鳳文化の名建築とされ、三重の塔ではありますが、裳階（もこし）がついて五重塔に見えます。

この歌は、佐佐木　信綱（明治～昭和にかけての歌人、万葉集の研究者）が、秋の山や空を背景に建つ東塔の姿を、一片の雲に込めて感慨深く詠んでいます。一首の中に「の」を６回も多用する心地よいリズムや、「やまと」、「やくしじ」の「や」の反復など、美しい声調を醸し出しています。また、「国」→「寺」→「塔」→「九輪（宝輪）」という、「大」から「小」への視点の移動と晩秋の澄んだ青空にかかる「一片の白雲」が映像としてとらえられ、目に浮かんできます。３年生の皆さんには、薬師寺でこの歌を思い出し、白鳳時代の国宝をじっくり眺めてほしいと思います。

「五中校区で育てる教育」

コロナ禍で思うように実施できなかった五中校区の児童・生徒による連携活動ですが、今年度は９月８日（木）に「五中サミット」を本校で開催することができました。二小、八小、十小の児童会の皆さんと五中生徒会役員、そして武蔵村山高校の生徒会役員の皆さんにも特別に参加してもらい、五中校区として「いじめをなくす取組」について話し合いました。各校の人権標語の発表や本校の取組である「ありがとうウィーク」についての紹介をしました。

本校では、平成２９，３０年度に東京都の人権尊重教育推進校に指定され、その時に作成した人権標語「言われても　言ってもうれしい　ありがとう」を広めるため、「ありがとう」の「とう」にちなみ、毎月１０の付く週に「ありがとうウィーク」を設定しています。自分にしてもらってうれしかったことを「ありがとう」のメッセージにして昼の放送で紹介しています。今年度の生徒会は、さらに校長室横の階段の柱に、寄せられたメッセージを掲示して、「ありがとうの木」を作る活動も進めています。また、９月２７日（火）には、本校前期図書委員会と新旧生徒会役員が二小、八小、十小に行き、小学１，２年生を対象に読み聞かせを行いました。参加した生徒たちは、小学生が真剣に聞いてくれたことをとても喜び、それぞれ達成感を味わったようです。これからも五中校区では、同じ目標に向かって連携・協力を深め、地域で子供たちを育ててまいります。

「吹奏楽部壮行会」開催！

吹奏楽部は、「東日本学校吹奏楽大会」出場に向けて、１０月２日（日）にさくらホールで壮行会を開催し、多くの御来賓、保護者、地域、学校関係者の皆様から御激励をいただきました。本番も悔いの残らぬよう演奏してまいります。お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。

明るいあいさつ・みんなの笑顔　第五中学校区（二小・八小・十小・五中）

第五中学校体罰防止標語：　チーム五中で　心に響く　生徒指導